

議会だより

東くしら

第126号

平成27年
8月10日発行

発行 鹿児島県東申良町議会
編集 議会広報編集委員会
電話 0994-63-3132(直通)



LED照明灯設置工事年度内未完了…………… 3
一般質問、7人の議員が登壇…………… 4
おたよりのコーナー…………… 10

いろんな灯ろうがいっぱいあるね。—7月22日 廣田神社の六月燈にて—

問を実施

平成27年第2回定例会は、6月12日から23日までの12日間の会期で開きました。

今定例会では、同意1件、報告2件、補正予算3件等を審議しました。

また、初めて日曜議会を開き、21日の一般質問には傍聴者が多数来場する中、7名の議員が登壇し執行部に質問を行いました。

平成27年度補正予算 (単位：千円以下切り捨て)

会計名	補正額	補正後の総額	歳出の主なもの
一般会計	3827万円	40億7910万円	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋評価システム端末更新に係る負担金の増 ・柏原海岸の公衆トイレ改修工事費の増 ・にぎやかタウン雪山の土地陥没に係る工事費の増 ・マイナンバー関連事務に係る交付金の増 ・放課後児童クラブ（学童保育）環境改善事業への補助金の増 ・水路等維持管理委託料の増 ・防災無線管理費修繕料の増 ・池之原小学校駐車場用地境界確定測量設計委託料の増 ・農地中間管理機構事業費の増
介護保険事業（保険事業勘定）特別会計	1672万円	9億3572万円	<ul style="list-style-type: none"> ・返還金の増 ・一般会計繰出金の増
簡易水道事業特別会計	530万円	2億8587万円	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地区加圧ポンプ取替工事の増

学童保育対象拡大。施設改修費用へ百万円補助
一般会計及び2特別会計の補正予算を原案可決
 今年4月から学童保育の対象が小学6年まで拡大されました。受け入れ施設の改修費用の一部として百万円の補助金が計上されました。なお、歳出の主なものは次のとおりです。

●固定資産評価員の選任
全会一致で同意
 人事異動により後任者の南郁夫氏（税務課長）を選任したいとの提案があり同意しました。



にぎやかタウン雪山の陥没箇所を調査



整備が望まれる池之原小学校駐車場

意見書とは・・・地方公共団体の公益に関する事件に関し、議会が地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。地方自治法の規定に基づき、国会又は関係行政庁に提出することができます。

- ▼審査結果 全会一致で採択**
意見書を国の関係機関へ提出
〈意見書の主な内容〉
1. 計画的な教職員定数改善を推進すること。
 2. 義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。
 3. 国の学級編成基準を改めて複式学級の解消に向けて適切な措置を講ずること。

▼陳情者 小蓬原昭雄（新川 西4995-11）
■教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

陳情

6月議会 初の日曜議会で一般質



地方創生関連事業 翌年度へ繰り越し

平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書（事業費の合計3724万4千円）について、報告がありました。次のとおりです。

- 東申良町総合戦略策定事業
- 空き家バンク登録事業
- 移住促進対策事業
- プレミアム付商品券発行事業

※1 繰越明許費とは
歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由により、当該年度内にその支出を終わらないものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使うことができる経費。

LED照明灯設置 工事年度内未完了

平成26年度一般会計事故繰越し繰越計算書（翌年度繰越額718万6千円）について、報告がありました。

【事故繰越しの理由】

LED資器材の納品が遅れ、26年度内に完成しなかった。

※2 事故繰越しとは
繰越しを全く予想しなかったものが、避けがたい事故のため年度内に経費の支出が終わらなかったもの。

町長は事業執行責任を逃れられない

町長の給与の減額条例を提出

賛成5、反対4で原案可決

【提出の理由】

LED照明灯設置工事は、その事業費のほとんどを石油貯蔵施設立地対策等交付金で執行できる。しかし、26年度は事故繰越しとし、一般財源から950万円を支出したことは町民に多大な損失を与えたものである。

このことは、年度内に事業完了できなければ交付金を受けられないことを十分に周知していたにもかかわらず、管理・監督の不行き届きなど不適切な事務処理が要因である。よって、事業執行の最高責任者である町長は、その責任を逃れることはできないものである。

【減額条例の内容】

町長の給与30%減を8カ月間。

給与減額に異議、臨時会で再議し否決

再議（審議のやり直し）は、特別多数議決（2/3以上）

賛成6、反対4で否決

議員が提出し可決した「町長の給与の減額支給条例」の内容に到底納得いかないとして、4つの異議を町長が示し再議書が提出されました。

1. 一般財源の中には、国から配分された多額の地方交付税が含まれており、必ずしも町や町民に多大な損失を与えたと解釈することはできない。
 2. 工事の管理又は監督につき不適切と認める点はない。
 3. 発注者である町に故意又は重大な過失があるとは認め難く、一概に町長に責任があるとは判断できない。
 4. 給与の減額支給について納得いくものではない。
- 再議のための臨時会を7月3日に開き、起立採決の結果否決となりました。

■町長が自ら提出、町長の給与10%減を3カ月間
賛成5、反対4で原案可決

【提出の理由】

LED照明灯設置工事で一般財源から補てんした事実を重くとらえ再発防止への姿勢。

一般質問

町政を問う

7 議員が登壇

※内容は要約してあります。詳細は会議録(設置案内P.9に掲載)をご覧ください。

町長 ピーマン、キュウリのみならず、全ての作物の技術指導員という観点から、専門指導員の必要性は強く感じている。

西園 本町のピーマン、キュウリは、県のブランド品であり、特にピーマンは県下第一のブランド品でもある。安心・安全な県の認証制度でも本町のピーマンは第1号、キュウリもその認証制度を受けている。

本町の野菜の売り上げは約30億円、隣のまちは約3億円の売り上げであるが、指導員がいる。こういう立派な産地に指導員がいないのは、他の町村からしてもおかしい。

また、本町の畜産の売り上げは16億円弱と思うが、畜産の方には指導員がいる。なぜ、野菜の方に指導員を配置しないのか。



子どもの声が飛び交う地域づくりを望む

町長 分散的に計画を立てても達成はできない気がする。今回の地方創生事業等で検討ができればと考える。

西園 定住化の住宅を町内で、一方、柏原地区は過疎化が進んでいる。1地区だけ定住化促進事業で家を造つていくと、今はいいが、30年、40年後には、その地区も老人のまちなって行く。今回は池之原地区に造つたから、次は柏原地区に造ろうとか、そういう分散した考えはないのか。

町長 要望等もあつて検討したが、現在の物産館も国道脇にあるがなかなか売り上げが伸びない状況である。2号店の設置は考えていない。

西園 柏原地区の人たちは非常に不便を感じている。もし店ができたなら、そこに家ができて、人が集まる。そうしたら自然にまちができる。店がなかったら、近くに家もできないし、人も集まらない。このことも、定住化促進事業と併せて取り組んでいただきたい。

Q 野菜の指導員を配置できないか

A 財政面も考慮し検討する



西園 貞美 議員

Q 柏原に定住事業を図れ希望者がいない等の懸念事項があるが検討はする

A 職員の増員は制約等も財政面等も考慮しなければならぬ。将来に向かって再検討してみる。

西園 柏原地区では、過疎化が進み子供も少なくなってきたが、この地区に定住化促進事業などの対策はできないか。

町長 柏原地区に公営住宅等の建設も考えているが、海に近い、津波が心配だということ、公営住宅については入居者が二の足を踏んで、空き家の状態が続いている。定住化になれば、なお開設しても希望者がいないとなつた場合、大変な負担を強いられることとなる。この問題も検討させていただきたい。

Q 柏原に物産館を設置せよ

A 設置は考えていない

西園 買い物が近くに店がないため、非常に柏原地区は不便を感じている。物産館2号店の設置など、早急な対策はできないか。

町長 検討してみたい。



Q ほ場整備事業の早期着手は？



A 県への要望を強める



牧原 完治 議員

牧原 本町の圃場整備事業については、川西西牟田地区から始まり、既に600ヘクタール近くが完成しつつある。残りの岩弘地区と持留川地区はいつ採択されるのか。

Q 池之原小駐車場の整備は早ければ今年中

牧原 池之原小学校の駐車場は整備が不十分で路駐が多く苦情があるが、利用しやすい駐車場にできないか。

教育長 通常、学校には職員駐車場と外部からの来校者用に駐車場を確保しており、PTAの方々の用の駐車場は確保されていない。学校行事等の際のPTAの方々の駐車場は、運動会や体育祭以外は校庭を使用している。

町長 平成2年から西牟田地区を皮切りに現在の西牟田雪山まで面的な工事は終わっている。残りは岩弘地区と持留川流域である。仮同意等をとった結果に基づいて申請はしている。同意率の高い岩弘地区が、平成30年度ごろに採択になればという考え方で作業を進めている。

町長 今の進捗状態から、やはり急いでも平成30年ごろと担当課から聞いている。

町長 今、学校への児童・生徒の登下校は、原則徒歩によるというのが基本である。しかし、送迎がふえてきているのも事実である。そのため、送迎車両に関する事故発生の危険性が懸念される。特に池之原小学校では、校庭への車両進入に際して、子供の通行場所を横断する際の事故が懸念されている。そこで、町道における交通事故発生の未然防止のために、PTA駐車場の整備を町当局へ依頼している。

具体的には、旧鉄道跡地を考えている。土地の地籍上の場所特定を行い、工事していくことになるかと見通している。

管理課長 早ければ今年中を考えているが、来年度になるかもしれない。

町長 旧鉄道跡地だけでなくゲートボール場の兼用、私有地の借地も検討してもらいたい。関連することであるが、裏門の坂道と大隅リース前の横断歩道で事故がないよう万全な対策も願います。

議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。
本会議の当日、傍聴人名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
議会を傍聴することは、町政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

**9月議会は、
8日からの
開会予定です。**



※本会議については、防災無線でお知らせします。

Q 交付金が減額となつた内容は？

A 工事が年度内に完了しなかった



泊 重巳 議員

泊 本町には459万klの石油貯蔵施設があるため、毎年9706万円の石油貯蔵施設立地対策等交付金が交付されている。

しかし、平成26年度は950万円の減額補正がされた。

理由は、LED照明灯設置工事が工期内に完成しなかったことにより、交付金が交付されなかったとのことであった。交付されなくなる前に関係機関、関係者との十分な協議、検討をしたのか。

総務課長 関係機関という

いろいろ対処したが、結果として年度内に納入できなかったのが、事故繰越の手続きをとった。

泊 この交付金事業は会計検査の対象であり、いろいろな制約がある。発注時、または契約時に業者に対して十分な説明をしたのか。

納品が難しいということ、時

期的に手続ができなかった。

泊 3月23日のLED資材納期打ち合わせ時に、納品業者から年度内には納品が出来ないと確認している。この時点で事業を中止し、平成28年度交付金事業として申請することはできなかったのか。

総務課長 LED照明灯の資材も会社に届いており実質不可能であった。

泊 緊急性を要する場合に専決処分できるが、3月23日で年度内に完成できないことが分かっていたのであるから、議会を招集する時間的余裕はあったと思う。権利の放棄は、議会の議決が必要であり、議会にも相談すべきであったと思うが。

総務課長 事故繰越と判断したので、次の議会で報告することとした。

泊 受注業者には1年の指名停止と聞いたが、何の基準により1年としたのか。

総務課長 950万円の補助金を受けられず、町も財政的な負担を受けたので1年の指名停止とした。

泊 妥当な指名停止の期間と思うか。

町長 条項を見て決定した。

Q AEDの設置箇所は？

A 利用者の多い施設に設置している



瀬戸山 譲一 議員

瀬戸山 救急車を呼ばなければいけなくなった状況や、人が倒れたときの緊急時、AEDを使用することでかなりの救命率が上がると聞いている。肝付町では、各公民館に1基ずつAEDを設置している。

AED設置を契機に、自主防災組織を立ち上げる際の防災意識高揚に役立つと確信するが、町長の考えを尋ねる。

心的・効率的設置に当たっては、心臓停止から180秒以内にはAEDを使用する必要があり、目撃されやすい場所、救助を入れやすい環境が必要で

町長 町では、AEDを公

共施設や小中学校、総合センターなど多数の人が出入りする施設に平成20年度から整備を進めてきている。現在、10施設に設置して、維持管理をしてきている。AEDの効果



AED（自動体外除細動器）は、心臓の心室細動時に電気でショックを与えるもので、突然止まってしまった心臓の働きを戻すように試みる医療機器です。

次の10カ所にAEDが設置されています。

- ・役場1階ロビー、保健センターロビー、総合センター事務所、町体育館ロビー、池之原小学校体育館、柏原小学校体育館、中学校体育館、高齢者福祉センター、町物産館、農協

ある。町ではAED設置箇所を周知するとともに、振興会行事や各種イベントなど貸し出し用もあるので、活用いただきたい。

瀬戸山 AEDの設置箇所や具体的に自主防災組織にどうつなげていくかということ

Q 地方創生への取り組みは今年2月に本部を設置

瀬戸山 地方創生をテーマにした研修の際、講師が「自分たちの町の方針、キャッチフレーズを明確なものをつくって出されたほうがいい」と話された。現在、本町地方創生の取り組みはどのような状況であるか尋ねる。

町長 本部は平成27年の2月に立ち上げた。また、地方創生プロジェクトチームとして24名に委嘱し、諮問機関的な活動をしていただく。第1回目の会合を6月26日に予定している。

瀬戸山 町民に地方創生事業の進捗状況、内容を知らせていくのか。

町長 広報紙を使って伝えていきたい。

瀬戸山 町民からの提案はどのように採用され、決定権はどこが有するのか尋ねる。

企画課長 総合戦略の政策

事業等については、現在も町のホームページで募集している。その事業が、国が示す総合戦略等に合っているのかはプロジェクトチームで検討したい。国、県との協議も必要であり、最終的には国の判断と思う。

Q 議会と執行部との情報交換はできないか

A 力を合わせる事が重要

瀬戸山 議会と執行部のあり方について、いろんな情報交換があってもいいのかなということを痛切に思うことがあった。執行部と議会のそういう密な関係があればと考えるが、町長の考えを尋ねる。

町長 二元代表制の中で、執行部と議会は、車の両輪にたとえられるが、進む方向は町民の幸せである。東串良町の発展と町民の幸せのために、議会と執行部は適度の緊張を保ちつつ、力を合わせて切磋琢磨していくことが重要であると思っている。

Q 母牛の淘汰事業の継続は？

A 継続するとは言い切れない



前田 隆 議員

前田 優良肉用繁殖雌牛更

新促進事業の淘汰事業については平成27年度で事業終了するが、平成28年度以降も継続する考えがあるか。

町長 平成27年度まで当初の計画であった。平成28年度以降はいろいろと検討してみなければ継続するとは言い切れない。



畜産の淘汰事業を続けてほしい

Q 学校給食費の補助は？

A 補助する考えはない

前田 南大隅町では、地方創生に関する新規の施策として、子育て世代給食費定額化事業を平成27年度から実施している。この事業の目的は、食育・地産地消推進計画に基づく学校給食の地場農畜産物の活用を推進し、食材の購入費用を町が一部負担することで、子育て世代の負担軽減を図るものである。これにより、幼稚園、小学校、中学校の1か月当たりの給食費は一律1000円である。

本町においても、地方創生事業の主要な施策の一つとして、学校給食費の補助はできないか。

町長 学校給食法第11条において、学校給食に要する経費は保護者負担とあるので、

補助する考えはない。

前田 人口増対策の速効性ある事業として全国では、もう何十箇所もの市町村が取り組んでいる。本町のどこにおいても、子供たちの明るい元気な声が聞けるような活気ある町となるよう地方創生事業で、ぜひ取り組むべきである。

Q 土地の陥没の原因は？

A わからない

前田 にぎやかタウン雪山の土地が、陥没する原因は何か。

町長 地下に不純物があつて、その状態ができてきているのか、また、家屋等の設計の段階でそういう兆候があつたのかどうか、わからない。

前田 平成16年当時、あそこの土地には地中に不純物が埋めてあるので、定住住宅を持つていったらだめですよと指摘があり、また、畜産農家からも糞尿処理等の関係で定住住宅用地に反対する陳情書が出された。このようなことにも関わらず、なぜ定住用地としたのか。

町長 陥没するとの予測はできなかったので、定住用地とした。

前田 土地の陥没は、天災ではなく人災だと考えるか。
町長 天災とも人災とも言い切れないので、早く修復したい。

前田 にぎやかタウン雪山の住民が、移転等を要望したら、どのような対応をとるのか。100%要望を飲んでもらえるのか。

町長 今は、移転までは考えていない。

企画課長 各世帯、各人でその要望は違うと思う。それに対しては個々に対応し、100%というか、できる部分とできない部分もあるかと思うので検討する。

前田 万が一、大きな人命にかかわる事故があった場合、誰が責任をとるのか。

町長 いろいろとその損害の問題、事故についてもやはり検証的な調査が行われてくるものであって、そこまでこなうってしますよということ、なってみないと調査のしようがない。結論的には早目に修復し、一日でも早く安心・安全が保てるようにしたいと考えている。

Q 地方創生の策定メンバーは？

A 農漁商工業を 中心に24名



上園 ミキ 議員

上園 地方創生総合戦略を策定するにあたり、その作業を行う地方創生プロジェクトチームはどの程度の人数となるのか。

上園 24名の名簿をもらったが、感じたこととして、一般住民の数が少ない。その中でも女性の数、特に子育て世代の女性の数が非常に少ない。どのような基準で選考したのか。

企画課長 農業、漁業、商工業の方を重点的に考えていたので、女性の数が手薄となった。

上園 プロジェクトチームが策定作業を進めていくが、全て丸投げされるのか。町長はどのような形で加わっていくのか。

町長 私も提案をするだけの説明も聞いていない。プロジェクトチームの初会合で委員の役職等が決められ

て進んでいくものと思うので、それまでは待つておこうという考え方でいる。

上園 児童数が減少している柏原小学校の対応策は、戦略の中に入れるのか。

町長 今進めている定住化促進住宅のあいうところ、人口がふえて、それと子供、そういうような形でいい一つの計画が皆さん方の知恵もかりてやつていければなど考えている。

上園 柏原小学校の児童数をどれぐらいでいくとめようと考えているか。

町長 まだ、そこまで検討していない。

上園 プロジェクトチームが策定した事業を国が認定しない場合、町独自の事業として実施するのか。

企画課長 国・県で政策事業が選定されなかった場合、確かに町にとって重要な施策であれば、一般財源を充ててもするべきだと私は考える。

上園 総合戦略策定が交付金の査定の対象になるのではと危惧しているが。

町長 この総合戦略策定が交付金などの調査に用いられるのではないかと危惧も

私はしている。

現時点において、国が運用的な考え方を示していない。しばらくこの事業がもつと進むことを待つて、このことに対する話し合いができたらと思う。

上園 この地方創生戦略の策定事業は、それぞれのまちの知恵比べ、いわば国や県に認められるような知恵を出したところが生き残っていくというように感じているが、本町にとって一番大事なことは何であると考えているか。

町長 人口が減ることが一番大きな問題であると考えている。

上園 池之原は一等地であり、定住事業も好評である。

しかし、東申良町は、柏原を含んでの東申良町である。定住促進事業をしても、柏原には人が来ないと町長は言うが、人が来るような政策打ち出せばいい。人が来ないからできないのでは、いつまでたっても柏原はよくならない。

リーダーシップを発揮できない町長は、もう交代してもらう以外にはないと強く感じる。



地方創生プロジェクトチーム始動

Q 柏原の公衆トイレ 改修計画は？

A 駐車場の 舗装など



宮地 利雄 議員

宮地 柏原海岸の公衆トイレの改修問題について、今回の補正予算では、どういう改修計画なのか尋ねる。

町長 室内灯の取りかえ、雨といの撤去、補修、駐車場の舗装をする。

Q 国保税と前期高齢者交付金との関係は？

A 医療費の動向が前期高齢者交付金にも影響がある

宮地 県内で本町の国保税は4番目に高い。県内の平均は1人当たり年7万8千円だが、本町は約9万円近い。1人当たりの医療諸費は、県内の平均は年間1人当たり38万2千円である。しかし、東串良町は、その平均よりも低い。医療費は低いのに国保税は県内で非常に高い。

なぜ、こうなっているのか。本町の国保会計に入ってくる前期高齢者交付金との関係はどうなっているのか。

福祉課長 前期高齢者交付金というのが複雑である。この交付金は2億2000万円があつたり、1億5200万円があつたり、その年によってすごく変わる。交付金額が一番上と一番下では8000万円も違う。こうした影響があるというのは医療費の動向が一番影響しているのではないかと考える。

Q プレミアム付商品券は地元消費拡大になっているか

A 実施要綱で地元消費の拡大を定めている

宮地 本町の地方創生事業での、プレミアム付商品券の発行事業の目的は何か。

企画課長 地域住民の生活等の支援である。また、実施要綱を定めて販売しており、目的には地元消費の拡大が含まれている。

宮地 地元消費の拡大という目的でありながら、実際は消費拡大につながらないという疑問点がある。商品を購入しない換金が禁止されるような厳しい実施要綱であるか。

企画課長 そのようにうたい込んである。

宮地 今後こういうプレミアム付商品券の発売というのがある場合には、多くの人が行き渡ることと、確実に地元消費につながるといふ、そのような要綱にされたい。

町長 できるだけ広く消費喚起ができて、物品等が売れるよう注意してやりたいと考える。

Q 空き家の入居条件は？

A Uターン・Iターン者を対象に考えている

宮地 空き家バンクの登録事業について、空き家に一定の補助金を出して、リフォームし、住む人をインターネットなどで募集するということになるのか。入居者の条件、年

齢や家族構成、収入や職業等についてどう考えているか。

企画課長 現在、Uターン・Iターン者を一応対象に考えている。年齢は20歳以上の者、それから町内に住所を有していない者、もしくは町内に住所を移して1年以内の者、本町に住み続けるといふような条件を考えている。

宮地 本町に移住する人への具体的な仕事の紹介というのは何か考えがあるのか。

企画課長 園芸農家等が高齢化でハウスが余っている、という話も聞いているので、農業従事者等を一応メインに考えている。

Q 地方創生の協議方法は

A 班で同一課題を議論する

宮地 地方創生プロジェクトチームが4班に分けてあるが、分野別で協議させるのか、同一課題で協議させるのか尋ねる。

企画課長 4つのグループで同一課題を議論していただくように考えている。

会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。

- ☆役場1階ロビー本棚
 - ☆福祉センター
 - ☆総合センター
- ・・・是非、ご覧ください。



おたよりの コーナー

議会だよりへのご投稿
ありがとうございます。
後日「図書カード」を
お送りします。

地域住民のための 町行政を心から望む

4年前に宮崎県えびの市から転入しました。私の住宅は、県道に面し交通量が多く、また、道路が直線状になっているためスピードを出して走る車が多く危険な場所です。

地域の生活道路であり、子ども達の通学道路でもあります。

県と一体となり、住民の命を守るための方策を考えなければならぬのは、町行政として当然の責務と考えます。

岩弘中区 中村勝さん（78歳）



♡ラビットスイカ大好きです！
池之原小5年 ペンネーム…猫もすき

★食べきれない時は、ひと口サイズに切って砂糖をかけて冷凍を。スムージーやシャーベットにどうぞ。

第2回目の募集

議会だよりに投稿しませんか？

例えば

1. この町に住んで感じること（400字程度）
2. 将来の夢（400字程度）
3. 東串良町の未来図（図画）
4. 自慢のワンショット写真
5. 自作の4コマ漫画
6. イラスト …… など

●議会だより「東くしら」に採用された方には、図書カードをお送りします。

●応募作品は、第127号（11月発行）で掲載する予定です。

【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。（持参可）
なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢（学校名と学年）、電話番号、匿名希望者はペンネーム

【応募先】

〒893-1693 東串良町川西 1543 番地 東串良町議会事務局

メールアドレス：gikai@higashikushira.com

【しめきり】平成27年10月9日必着 【注意】作品の返品はいたしません。



議長 田之畑 稔

若者が生きがいを持って働ける畜産
行政の推進を期待します

畜産環境の整備を進め、健全な和牛
生産に努めていきたいと考えます



町和牛振興会長 永田客藏さん

町民に インタビュー Vol.8

このコーナーは、町民の意見を幅広く聴取し、
行政に反映する目的で企画しました。

議長 今回は、本町の畜産
行政の推進役としてご尽力い
ただいている東串良町和牛振
興会の永田客藏会長に現状と
課題についてお尋ねします。

**本町の肉用牛生産額は
約13億円**

永田 本町の和牛振興会
は、6支部の39グループで
149名の会員が各支部やグ
ループを通じて活動していま
す。

また、昨年度は全国的な子
牛生産頭数の減少により、子
牛相場は高値で取引されまし
た。本町の子牛の生産頭数は
1702頭で、販売額は9億
円余りでした。

一方、肥育牛についても、
諸外国の事情により輸入量が
伸びなかったことにより、枝
肉相場は高値安定で推移しま
した。

本町の肉用牛生産額は約
13億円で、水稲・園芸ととも

に複合経営の3本柱として定
着するよう取り組みます。

議長 畜産は本町の主要基
幹産業の一つですが、今後の
振興策について会長の考えを
お尋ねします。

**血統構成の見直しを図
り、子牛の商品価値を
高めていきたい**

永田 本町においても担い
手農家の高齢化や生産者の減
少など課題も多くあります。

また、日豪EPAやTPP
による輸入枠拡大と関税率引
き下げは、私ども畜産農家に
とつて大きな打撃であり懸念
されるところです。

しかし、このような状況の
中でも、優良肉用繁殖雌牛更
新促進事業や優良家畜保留事
業の活用と、優良雌牛定着化
促進事業による優良家畜の導
入や10歳以上の高齢雌牛の更
新をすすめていきたいです。
そして、若い母牛による血

統構成の見直しを図り、子牛
の商品価値を高めていきたい
と考えています。

議長 畜産農家の地道な努
力により、昨年は肝属畜産共
進会で優秀な成績を収められ
ましたが、その成果について
お尋ねします。

**グラントチャンピオン
賞獲得、本町和牛の名
声を高めた**

永田 畜産共進会では、2
年連続で県畜産共進会への出
品を果たし、成雌区で外園龍
一さんが最優秀賞一席、グラ
ントチャンピオン賞、農林水
産大臣賞を獲得しました。

また、若雌二区では稲隈哲
夫さんが最優秀賞五席に入賞
して肢蹄賞に輝き、東串良町
和牛の名声を高めました。

今後とも、諸課題の解決を
図るとともに、各種研修会の
開催や関係機関の指導を仰
ぎながら畜産環境の整備を進
め、健全な和牛生産に努めて
いきたいと考えます。

議長 政府は地方創生の実
現を図るべく地方版総合戦略
の策定を求めています。若者
が生きがいを持って働ける畜
産行政の充実と和牛振興に向
けて、一層のご尽力を期待し
ます。

輪和話のひろば

vol.8

このコーナーは、町内のあちろいちらの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願ひします。



熱中症について学ぼう

暮らしの保健室のびる館に、気軽にようくいやんせ

今回は、「暮らしの保健室のびる館」の活動を紹介します。

暮らしの保健室のびる館は、唐仁地区の郷土研修館を拠点に今年6月、活動がスタートしました。代表の林弥生さんを中心に現在4名で週3回(火水木)活動しています。主な活動は、生活指導(血圧測定やお薬のチェック)、医



フットケアの体験ができます

療介護相談やフットケアです。活動が始まったきっかけは、高齢化が進む中、「高齢者の居場所と出番を創出したい」「健康寿命の延伸に貢献したい」との思いからです。活動を通しての楽しみは、利用者から、「心強い」「くつろげる」「初めてでうれしい」等々の喜びの声が聞けることのようにです。これからは、健康情報の発信や研修館に来られない方のお宅訪問、地域への周知活動に取り組みたいとのこと。

取材を終えて

「暮らしの保健室」の取り組みで、東北のある山村は、医療費が半減したそうです。取材中にある御婦人が「一人暮らしの身にはとても頼りにできるありがたい存在」と話されました。集落内での知名度も徐々に高まってきました。住民の連帯感が深まり、財政軽減にも貢献できる素晴らしい事業だと思いました。取材者 瀬戸山 譲一

記録的な豪雨

短時間での集中豪雨で、冠水、崖くずれの災害が発生しました。6月議会中に現地の調査を行いました。議会は住民の声を行政に反映させていきます。



国道 220 号の冠水 (池之原地区)

編集後記

長雨の影響で、水稲や甘しょ等の出来が心配される今日この頃です。

新人議員として初めて参加させていただいた六月議会でした。なかなか、議論が白熱した議会だったと思います。その模様、結果をもっと知りたいという声を方々で聞きます。



道路脇の崖崩れ (岩弘地区)



冠水対策の調査 (柏原地区)

可視化を進める上で、議会の様子をインターネット上に載せる話も出ています。そんな時代が到来したと言えます。瀬戸山 譲一

- ▼広報編集委員会
- 編集委員長 原田 猛
- 編集副委員長 瀬戸山 譲一
- 編集委員 泊 重巳
- 〃 前田 隆
- 〃 上園 ミキ
- 〃 宮地 利雄